TOSHIBA 東芝ワイヤレスマイクロホン取扱説明書

対象機種	AWM-321（300MHz帯・技術基準適合証明品）

このたびは、東芝ワイヤレスマイクロホンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのワイヤレスマイクロホンを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■この機器は改造しないでください。
火災、感電の原因となります。

〔使うときの注意〕

■この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWM-321(1/8)

⚠ 警告

〔使うときの注意〕

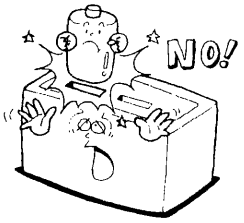
■航空機内では電源を切ってください。
運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

■医用電気機器に近づけないでください。（手術室、集中治療室、ＣＣＵ*等には持ち込まないでください。）
この機器からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
*ＣＣＵとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

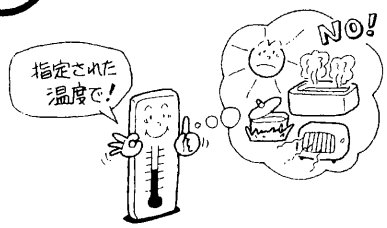
■自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。
この機器からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

■この機器に使用している電池を取り出した場合は、小さなお子さまが電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談してください。

■乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



■高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には放置しないでください。火災の原因となることがあります。
- サウナや風呂場など
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
- 直射日光のあたる場所
- 夏の窓を閉めきった自動車の中
- 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所



⚠ 注意

〔使うときの注意〕

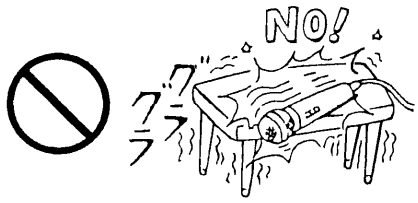
■機器を使用する場合は、取扱説明書をよく読み、説明に従って使用してください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWM-321(2／8)

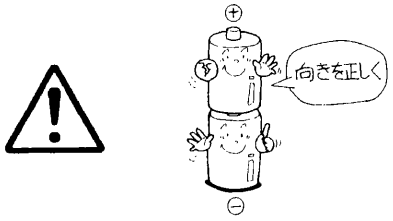
⚠ 注意

〔使うときの注意〕

■ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



■電池を機器内に挿入する場合は、極性表示(プラス＋、マイナスーの向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

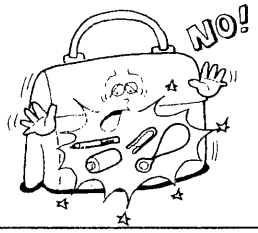


■指定以外の電池は使用しないでください。また、長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。乾電池の破裂、液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

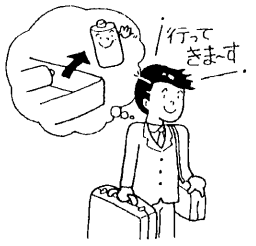
■この機器は改造し使用することは法により禁じられています。また、分解したり、内部の部品をいじったりしないでください。

〔保管にあたっての注意〕

■電池は金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、電池の破裂、液漏れにより火災、けがの原因となることがあります。



■長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液が漏れて火災、けが、周囲汚損の原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



〔廃却するときの注意〕

■電池は加熱したり、分解したり、火や水の中にいれないでください。
電池の破裂、液もれにより火災、けがの原因となることがあります。

■電池など中に有害物資を含んだ物は一般のゴミと一緒に処置は出来ません。必ず専門の業者に依頼するなど十分に注意して処理してください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWM-321(3/8)

使用上のご注意

■ 強い電波を発生する機器などに近づけないでください。

- マイクを携帯電話など強い電波を発生する機器に近づけるとノイズを発生する場合があります。
- また、ワイヤレスチューナ(受信機)およびワイヤレスアンテナもディジタル機器、高周波を発生する機器などに近づけると混信、ノイズ発生などの誤動作を発生する場合があります。
- その場合は、電波を発生する機器より離して使用してください。

■ ハウリングに注意してください。

- 狭い部屋または、スピーカの近くでマイクを使用すると、ハウリング(『ピー』という音)を発生する場合があります。
- その場合は、スピーカの音量を下げるか、マイクとスピーカの位置・方向を変えてハウリングが発生しないよう処置してください。

■ マイクをワイヤレスアンテナに近づけすぎないでください。

- マイクをワイヤレスアンテナに近づけすぎますと(2m以内)、他チャンネルへの飛び込み、混信などが発生する場合がありますので注意してください。
- マイクは、ワイヤレスアンテナから2m～10mぐらいの距離で使用することをおすすめします。

■ マイクどうしを近づけすぎないでください。

- 2本以上のマイクを近づけすぎますと(50cm以内)、他チャンネルへの飛び込み、混信などが発生する場合がありますので注意してください。

■ マイクを金属物に接触させないでください。

- マイク部のネット部分および本体クリップに金属物が接触した状態で使用しますと、ノイズが発生する場合がありますので注意してください。

■ マイクの送信周波数とワイヤレスチューナの受信周波数は、同じ周波数に設定してください。

適合ワイヤレスチューナ

周波数選択設定タイプ　：AWU－321
周波数固定タイプ　：AWU－310C11　AWU－310C12
AWU－310C13　AWU－310C14
AWU－320C11　AWU－320C12
AWU－320C13　AWU－320C14

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWM-321(4／8)

各部のなまえと説明

電源表示灯（赤）

電源スイッチを入れますと点灯します。

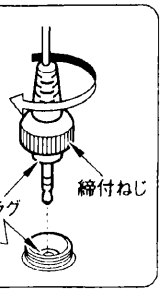
・電源表示灯が遅い点滅または消灯する場合は、使用している乾電池が消耗しています。新品の乾電池に交換してください。

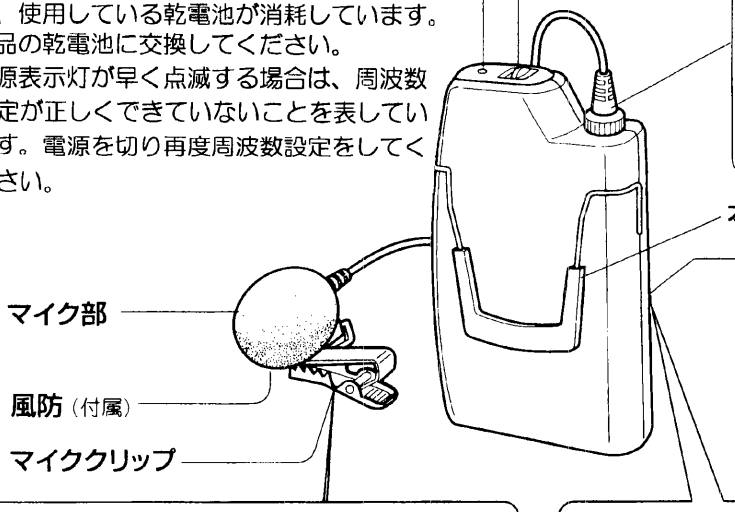
・電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないことを表しています。電源を切り再度周波数設定をしてください。

電源スイッチ

マイクプラグ

本体のマイクジャックに差し込み、締付ねじを矢印の方向にまわし、しっかり締め付けてください。





本体クリップ

電池ケース

ふたをはずし、内部の極性表示に従って電池を入れてください。
また、送信周波数を設定するためのグループ／チャンネル設定スイッチもこの中にあります。

ご注意

出荷時、乾電池は入れてありません。
付属の乾電池を入れてください。

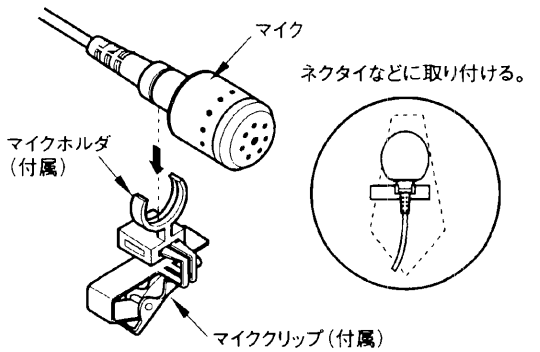
マイク部

風防（付属）

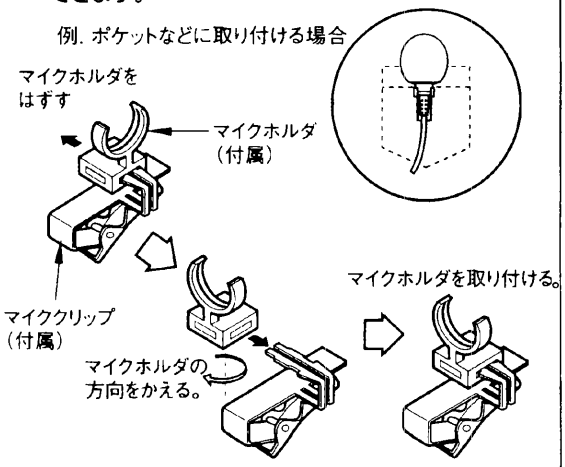
マイククリップ

マイクホルダの取付けかた

1. マイクホルダをマイクの溝に合わせて差し込む。



2. マイクホルダを衣服に合わせて付け替えることもできます。

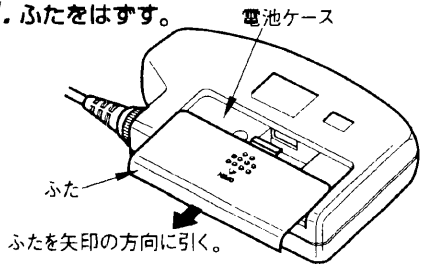


乾電池の入れ方

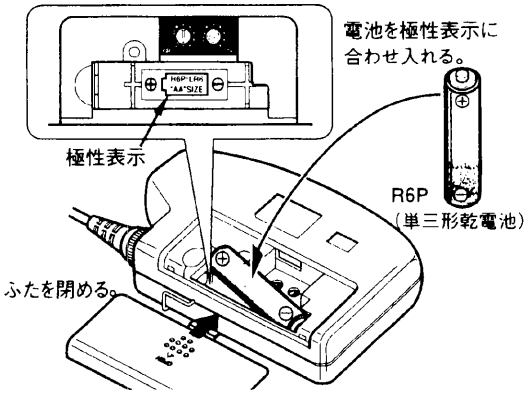
ご注意

電池を交換または、入れるときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

1. ふたをはずす。



2. 電池を入れる。



3. 電源スイッチを入れ乾電池の確認をする。

電源表示灯が点灯
すれば乾電池は正常です。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWM-321（5／8）

送信周波数（チャンネル）の設定について

■ グループについて

● 同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は１つのグループに統一します。（グループ１～４の中から１つのグループを選びます。）

・グループ１～３の中から１つのグループを選んでシステムを組めば、最大４波まで使用できます。

・グループ４は１波使用できます。

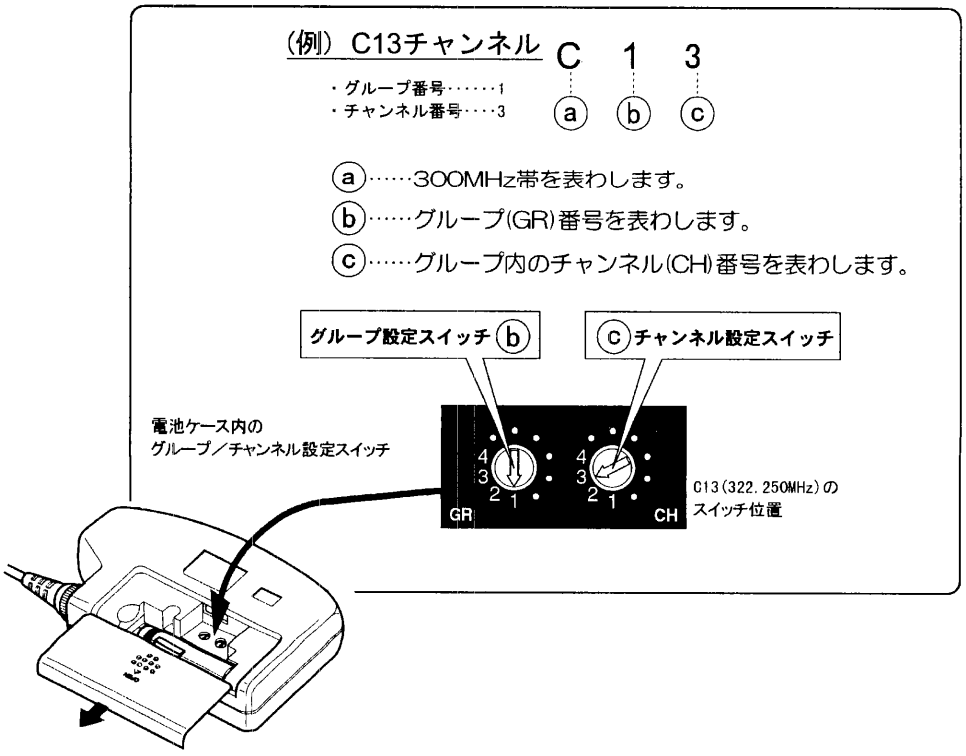
〔送信周波数表〕

周波数（MHz）	グループ／チャンネル番号			
	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

■ チャンネル呼称および設定スイッチについて

●チャンネルの呼称および設定スイッチについて、C13チャンネルを例に次に説明します。

●出荷時は、C11チャンネルに設定してあります。

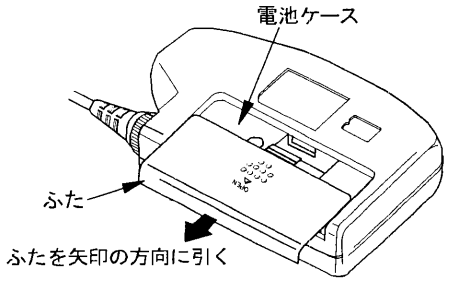


＜生産完了 2006年02月08日＞
AWM-321（6／8）

■ 周波数の設定のしかた

●出荷時は、C11チャンネルに設定してあります。

1. ふたをはずす。

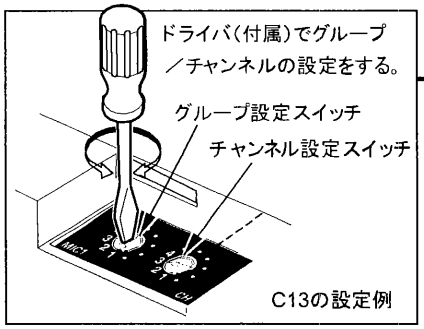


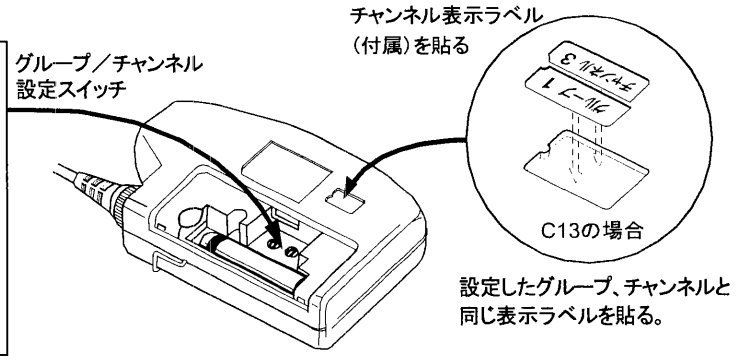
ご注意

周波数を設定するときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

電池ケース内部にグループ／チャンネル設定スイッチがあります。
電源スイッチを必ず「切」にしてから、電池ケースのふたを開けてください。

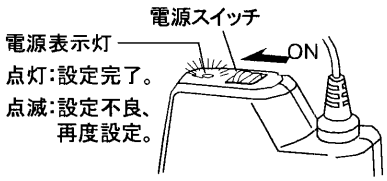
2. グループ／チャンネルを設定する。





設定したグループ、チャンネルと同じ表示ラベルを貼る。

3. 電源スイッチを入れ、設定を確認する。



電源スイッチを入れ、電源表示灯が点灯すれば設定したグループ／チャンネルは正常です。
電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないこと(6ページの送信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。電源スイッチを切り再度周波数設定をしてください。

使いかた

■ 使いかた

1 マイク部を固定します。

マイク部をできるだけ口元に近い位置になるようマイククリップでネクタイや衣服の襟などに固定します。

2 電源スイッチを入れます。

電源表示灯が点灯していることを確認してください。

3 マイクに向かって話します。

マイクを口元に近づけるとより明瞭な音質となります。

4 話が終了しましたら、電源スイッチを切ります。

電源表示灯が消灯していることを確認してください。

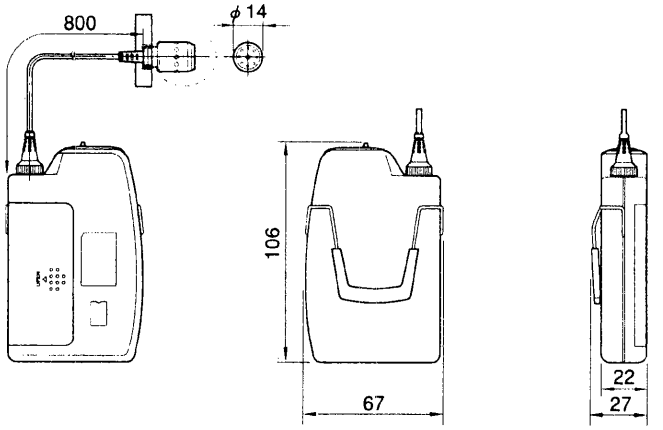
修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名（AWM-321）およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWM-321(7／8)

仕様および外形寸法図

電波型式	30KF3E
送信周波数	322.025MHz～322.150MHz 322.250MHz～322.400MHz の 25kHz 間隔 13 波 （1 波を選択して使用）
適合ワイヤレスチューナ	AWU−310C11，AWU−310C12，AWU−310C13，AWU−310C14 AWU−320C11，AWU−320C12，AWU−320C13，AWU−320C14 AWU−321
発振方式	水晶制御 PLL シンセサイザ方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	1mW
変調感度	±2.25kHz　FM（84dB SPL　1kHz にて）
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
同波数特性	100Hz～7kHz（1kHz 標準 50μs エンファシス）
最大入力音圧	110dB SPL
入力等価雑音	40dB SPL 以下（A カーブ）
使用電池	単三乾電池　R6P（SUM−3）1.5V　1 個
消費電流	45mA（1.5V にて）
電池持続時間	約 14 時間（常温連続使用にて）
アンテナ	内蔵アンテナ
使用温度範囲	0℃～+40℃
外形寸法	本体部：長さ 104mm　幅 66mm　厚さ 22mm マイク部：直径 14mm　長さ 25.5mm 本体部とマイク部間線長：約 800mm
質量	約 120g（乾電池含む）
外観色	ストーンシルバー
付属品	単三乾電池 R6P（SUM−3）…… 1 チャンネル設定用ドライバ …… 1 チャンネル表示ラベル …… 1 マイククリップ …… 1 風防 …… 1 取扱説明書 …… 1 東芝お客様ご相談センター一覧表 … 1



単位：mm

東芝ライテック株式会社 システム事業部 〒140-8660 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL (03) 5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(12189)A

＜生産完了 2006年02月08日＞